今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

〇1月8日～

今年は元旦から能登半島で地震が起き、株の大発会もスタート時は暴落から始まりましたがマーケットもそれほどリスク回避的な動きは見られず、今のところ波乱の少ない動きとなっています。
為替は年初から円安でスタートし、テクニカル的に見てもドル／円は140円台で一旦の底打ちの可能性が出てきました。
年明けの大地震の影響で、日銀が政策修正に動きにくくなったことが日本株高や円安の動きの一因となっているという指摘もあります。
また、日本株については、新NISA（少額投資非課税制度）が始まったことも追い風になっており、外国株を買う動きは円安の動きにつながるという話もあります。
能登半島の地震は、北陸だけでなく、日本経済へのダメージもあると思うので、日銀が今後どう動くかにも注目したいと思います。
日銀は地震の影響で、1 月は政策転換などに動きにくくなったという予想が増えています。
米国も年明けの株価は堅調な動きとなっており、高値圏での推移を続けています。
先週末発表された雇用統計も強い結果となり、ドル／円も発表直後は146円近くまで上昇しています。ただし、マーケットが終わる頃には発表前の水準あたりのレートになっています。
株、ドル／円ともに先週の強い動きが継続するかどうかがポイントになりそうです。
今週は、米国では消費者物価指数の発表があります。
米国のインフレ率はかなり下がってきているので、結果次第では米国の早期利下げ期待が高まる可能性もあります。
そして、原油価格と米国の長期金利が年明けから上昇傾向にあるので、上昇が続けばマーケットに影響が出てくる可能性もあります。
為替相場では、11 月から年末にかけてドル／円がずっと下落していましたが、その流れが年明けから変わってきています。
焦らず、しっかりとトレンドについていきたいです。

● テクニカルで見た重要ポイントは？

＜ドル／円＞

年初の下げで 140 円台後半をつけた後は、順調に上昇してきました。
先週のマーケットは 144 円台半ばで終わっていますが先週高値を超えて、146 円のせとなれば 148 円あたりまで値を伸ばしそうです。

Copyright© （有）ユビキタストレーディング　All Rights Reserved

今週の相場はどうなる？

下値は、144円あたりを維持できれば堅調な動きが続きそうです。
先週の雇用統計発表後の安値の143．8円を割り込むと142円台まで下落するリスクがあります。
今のところ140円を割り込む急激な円高になるとは考えにくいので、下がったところをタイミング良く、押し目買いで狙っていきたいです。
143－146円程度のレンジを意識しながらトレードしたいです。

＜気になるクロス円＞

クロス円も年初から上昇してきているペアがほとんどなので、この流れが続くかどうかに注目したいです。
ユーロは昨年12月下旬から年末にかけて158円台で頭打ちとなっていたので、明確にこの抵抗を超えて、159円超えとなれば上昇していく可能性が高まりそうです。
オセアニア通貨も12月後半の抵抗あたりのレートまで来ているので、ここを超えられるかどうかに注目したいです。反落して下がってきた場合は、買いは様子見がいいかもしれません。
ランド／円は12月に入ってから7．5－7．6円あたりで下げ止まっているように見えるので、ここから上昇していくかどうか慎重に動きを見ていきたいです。

＊クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

＜今週のファンダメンタル？＞

日本では12月東京都区部消費者物価指数、11月貿易収支などがあります。
米国では11月貿易収支、12月消費者物価指数、前週分新規失業保険申請件数、12月月次財政収支、12月卸売物価指数などが発表されます。
欧州ではユーロ圏で11月小売売上高、ドイツで11月製造業新規受注、11月鉱工業生産などがあります。
ほかには、オーストラリアで11月消費者物価指数、中国で12月貿易収支、英国で11月GDPの発表などがあります。

Copyright©（有）ユビキタストレーディング　All Rights Reserved